

2024年3月

県内企業の景況意識調査

(第188回)

共同調査

大銀経済経営研究所

大分信用金庫

大分県産業創造機構

- * 2024年 1～3月期〈Ⅰ期〉の実績見込み
- * 2024年 4～6月期〈Ⅱ期〉の見通し

2期ぶりに悪化

今期（2024年1～3月期〈Ⅰ期〉）の業況判断BSIは、前期比13.4ポイント低下の▲0.6となった。業種別のBSIは『建設業』『製造業』『卸・小売業』『運輸業』『金融・不動産業』『サービス業』の6業種全てで悪化した。

業種別に見ると、前期は建設業を除く5業種で改善したが、今期は6業種全てで悪化し、業況判断BSIは2期ぶりの悪化となった。製造業や卸・小売業の一部では、自動車メーカー工場の操業停止の影響がみられた。

来期（2024年4～6月期〈Ⅱ期〉）の業況判断BSIは、今期比6.9ポイント低下の▲7.5となる見通し。業種別のBSIは『製造業』『サービス業』の2業種で改善、『建設業』『卸・小売業』『運輸業』『金融・不動産業』の4業種で悪化の見通しである。

来期はサービス業を中心に人流の増加を期待する声があった一方、卸・小売業では季節需要の剥落などから需要の減少を見込む企業も見られ、業況判断BSIは低下する見通し。

*2024年 1～3月期〈Ⅰ期〉の実績見込み

製造業……………2期ぶりに悪化

卸・小売業……………卸売業は悪化、小売業は改善

建設業……………2期連続の悪化

サービス業……………4期連続のプラス水準

2期ぶりに悪化

◎業況判断

【今期】(2024年1～3月期〈I期〉)

業況判断BSI：▲ 0.6 (前期比▲13.4㊦)

＜内訳＞

- ・よくなった 14.6% (前期比▲11.7㊦)
- ・悪くなった 15.2% (前期比+ 1.7㊦)
- ・変わらない 70.2% (前期比+10.0㊦)

＜業種別＞

- ・前期比悪化：6業種 (『建設業』『製造業』『卸・小売業』『運輸業』『金融・不動産業』『サービス業』)

業種別に見ると、前期は建設業を除く5業種で改善したが、今期は6業種全てで悪化し、業況判断BSIは2期ぶりの悪化となった。製造業や卸・小売業の一部では、自動車メーカー工場の操業停止の影響がみられた。

来期はサービス業を中心に人流の増加を期待する声があった一方、卸・小売業では季節需要の剥落などから需要の減少を見込む企業も見られ、業況判断BSIは低下する見通し。

【来期】(2024年4～6月期〈II期〉)

業況判断BSI：▲ 7.5 (今期比▲ 6.9㊦)

＜内訳＞

- ・よくなる 14.0% (今期比▲ 0.6㊦)
- ・悪くなる 21.5% (今期比+ 6.3㊦)
- ・変わらない 64.5% (今期比▲ 5.7㊦)

＜業種別＞

- ・今期比改善：2業種 (『製造業』『サービス業』)
- ・今期比悪化：4業種 (『建設業』『卸・小売業』『運輸業』『金融・不動産業』)

◎売上高と収益

【今期】

売上高BSI：+ 1.1 (前期比▲16.4㊦)

4業種で悪化

収益BSI：▲ 6.4 (前期比▲16.4㊦)

5業種で悪化

【来期】

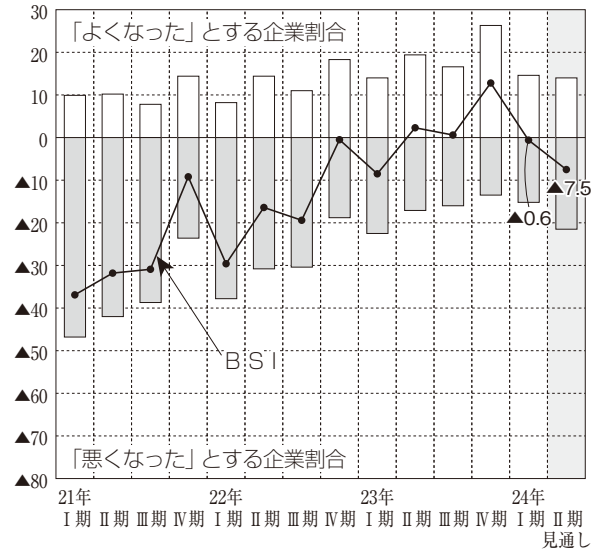
売上高BSI：▲ 7.5 (今期比▲ 8.6㊦)

5業種で悪化見通し

収益BSI：▲16.3 (今期比▲ 9.9㊦)

6業種で悪化見通し

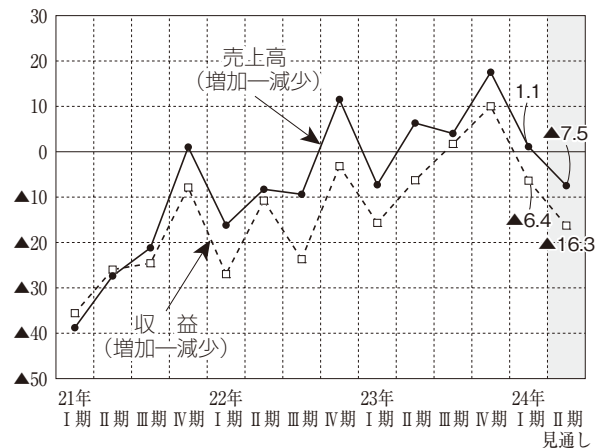
業況判断 (B S I)



業況判断指数内訳 (B S I)

	2023年 Ⅲ期	2023年 Ⅳ期	2024年 Ⅰ期	2024年 Ⅱ期見通し
建設業	8.0	▲ 4.0	▲ 8.3	▲16.7
製造業	▲ 3.7	14.0	▲ 7.3	▲ 3.6
卸・小売業	▲14.3	2.4	0.0	▲22.0
金融・不動産業	0.0	20.0	0.0	▲33.3
運輸業	0.0	9.1	7.2	▲ 7.2
サービス業	18.9	38.7	12.9	16.1
全 産 業	0.6	12.8	▲ 0.6	▲ 7.5

売上高と収益 (B S I)



◎所定外労働時間と雇用者数の現状

【今期】

所定外労働時間 B S I : ▲ 3.0 (前期比▲ 7.8%)
4業種で低下

雇用者数の現状 B S I : ▲44.1 (前期比▲ 2.0%)
4業種で低下

【来期】

所定外労働時間 B S I : ▲10.1 (今期比▲ 7.1%)

◎経営上の問題点

- 1位:「売上不振」(26.8%)
- 2位:「原材料仕入価格高騰」(23.2%)
- 3位:「人手不足」(18.9%)
- 4位:「人材不足」(12.2%)
- 5位:「競争激化」(7.3%)

業種別にみると、「売上不振」と回答した割合は、『製造業』が35.8%と特に高い。「原材料仕入価格高騰」は『金融・不動産業』で33.3%と最も高くなっている。

◎設備投資実施割合

【今期】

実施企業の割合: 40.1% (前期比▲ 2.6%)
5業種で低下

<投資目的>

- 1位:「補修・更新」(67.6%)
- 2位:「生産能力の拡大・売上増加」(13.2%)
- 3位:「合理化・省力化」(8.8%)

【来期】

実施予定企業の割合: 43.0% (今期比+ 2.9%)
3業種で上昇見通し

<投資目的>

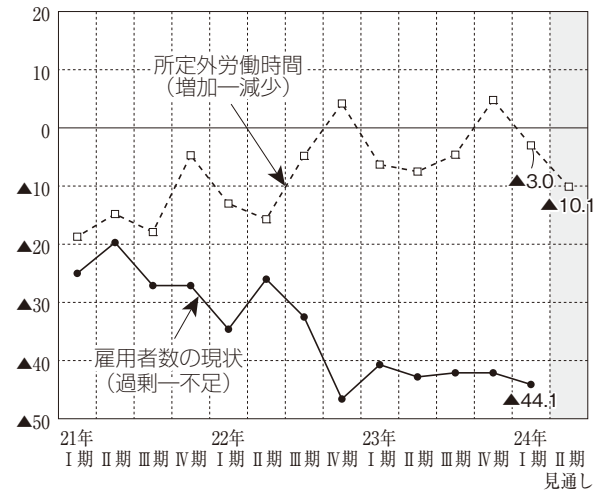
- 1位:「補修・更新」(71.2%)
- 2位:「合理化・省力化」(13.7%)
- 3位:「生産能力の拡大・売上増加」(9.6%)

◎「令和6年度(2024年度)の採用予定」について

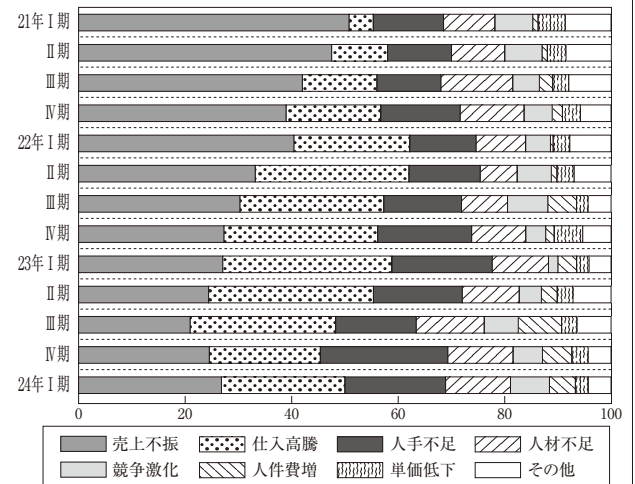
今回の調査において、「令和6年度(2024年度)の採用予定」について尋ねたところ、「新規卒業者を採用する」が41.3%、「中途採用を予定している」が23.3%、「採用しない」が18.6%、「未定」が13.4%となった。

1年前の「令和5年度(2023年度)の採用予定」についての調査と比較して「新規卒業者を採用する」が5.3ポイント増加した一方、「中途採用を予定している」が0.9ポイント減少、「採用しない」が3.3ポイント減少、「未定」が5.1ポイント減少した。

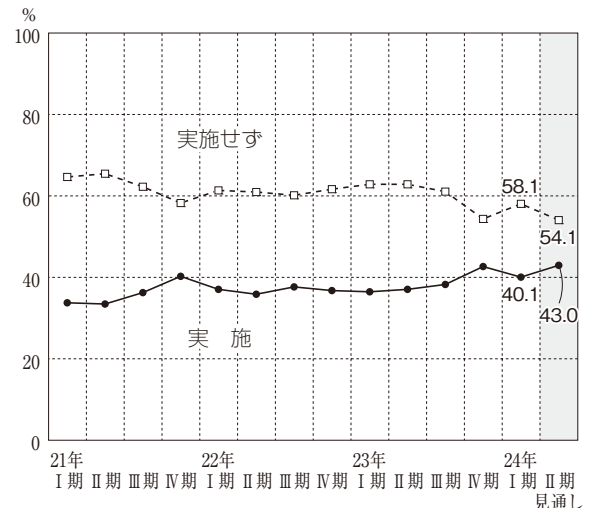
所定外労働時間と雇用者数の現状 (B S I)



経営上の問題点 (%)



設備投資実施割合



2期ぶりに悪化

◎業況判断

【今期】 (2024年1～3月期〈I期〉)

業況判断BSI : ▲ 7.3 (前期比▲21.3ポイント)

<内訳>

- ・よくなった 10.9% (前期比▲18.9ポイント)
- ・悪くなった 18.2% (前期比+ 2.4ポイント)
- ・変わらない 70.9% (前期比+16.5ポイント)

<業種別>

- ・前期比改善 : 1業種 (「鉄・非鉄・金属」)
- ・前期比悪化 : 4業種 (「化学・石油」「機械」「食料品」「木材・家具」)
- ・前期比不変 : 3業種 (「印刷・出版」「窯業・土石」「その他」)

建築需要の減退から「木材・家具」が悪化したほか、一部自動車メーカーが生産を停止した「機械」が悪化し、全体の業況判断BSIも2期ぶりに悪化した。

【来期】 (2024年4～6月期〈II期〉)

業況判断BSI : ▲ 3.6 (今期比+ 3.7ポイント)

<内訳>

- ・よくなる 16.4% (今期比+ 5.5ポイント)
- ・悪くなる 20.0% (今期比+ 1.8ポイント)
- ・変わらない 63.6% (今期比▲ 7.3ポイント)

<業種別>

- ・今期比改善 : 3業種 (「化学・石油」「機械」「木材・家具」)
- ・今期比悪化 : 3業種 (「鉄・非鉄・金属」「食料品」「印刷・出版」)
- ・今期比不変 : 2業種 (「窯業・土石」「その他」)

工場の稼働再開が期待される「機械」や、製品需要の良化が見込まれる「化学・石油」などが改善する見通しであり、来期の業況判断BSIは改善する見通し。

◎売上高と収益

【今期】

売上高BSI : ± 0.0 (前期比▲24.6ポイント)

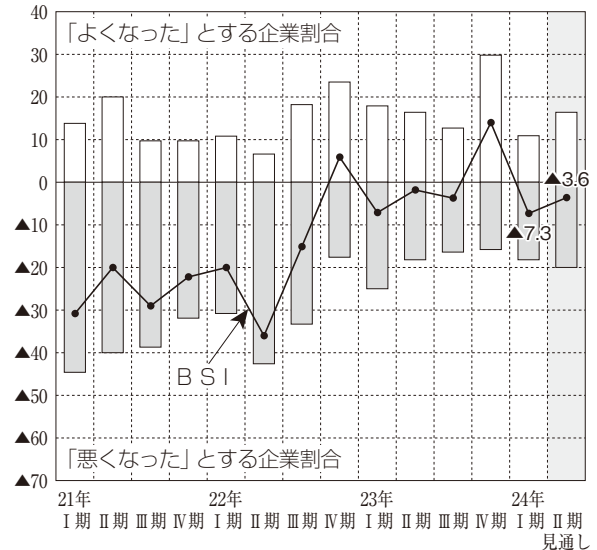
収益BSI : ▲12.7 (前期比▲23.5ポイント)

【来期】

売上高BSI : ▲ 3.7 (今期比▲ 3.7ポイント)

収益BSI : ▲21.8 (今期比▲ 9.1ポイント)

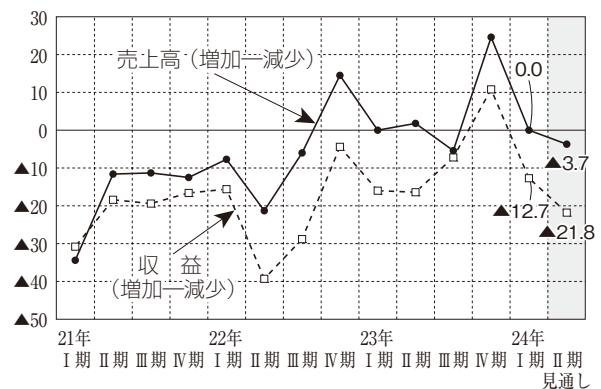
業況判断 (B S I)



業況判断指数内訳 (B S I)

	2023年 Ⅲ期	2023年 Ⅳ期	2024年 Ⅰ期	2024年 Ⅱ期見通し
化学・石油	▲25.0	0.0	▲22.2	0.0
鉄・非鉄・金属	▲40.0	20.0	50.0	25.0
機 械	▲ 7.2	0.0	▲17.6	▲ 5.9
食 料 品	14.3	46.7	18.2	0.0
木材・家具	▲20.0	33.3	▲33.3	16.7
印刷・出版	▲50.0	▲25.0	▲25.0	▲75.0
窯業・土石	0.0	0.0	0.0	0.0
そ の 他	42.9	0.0	0.0	0.0
製 造 業	▲ 3.7	14.0	▲ 7.3	▲ 3.6

売上高と収益 (B S I)



卸売業は悪化、小売業は改善

◎業況判断

【今期】(2024年1～3月期〈I期〉)

『卸売業』

業況判断BSI：▲5.3(前期比▲10.9㊦)

<内訳>

- ・よくなった 10.5%(前期比▲6.2㊦)
- ・悪くなった 15.8%(前期比+4.7㊦)
- ・変わらない 73.7%(前期比+1.5㊦)

『小売業』

業況判断BSI：+4.7(前期比+4.7㊦)

<内訳>

- ・よくなった 19.0%(前期比▲11.4㊦)
- ・悪くなった 14.3%(前期比▲16.1㊦)
- ・変わらない 66.7%(前期比+27.6㊦)

卸売業は売上高BSI、収益BSIが大幅に悪化し、業況判断BSIも悪化した。小売業は、季節需要により好調な企業が見られた。

【来期】(2024年4～6月期〈II期〉)

『卸売業』

業況判断BSI：▲15.0(今期比▲9.7㊦)

『小売業』

業況判断BSI：▲28.5(今期比▲33.2㊦)

業況判断BSIは卸売業、小売業ともに悪化する見通し。小売業では、新生活準備等の季節需要の剥落による落ち込みを見込む声があった。

◎卸売業：売上高と収益

【今期】

売上高BSI：▲25.0(前期比▲47.2㊦)

収益BSI：▲30.0(前期比▲46.7㊦)

【来期】

売上高BSI：▲5.0(今期比+20.0㊦)

収益BSI：▲15.0(今期比+15.0㊦)

◎小売業：売上高と収益

【今期】

売上高BSI：▲4.8(前期比▲9.2㊦)

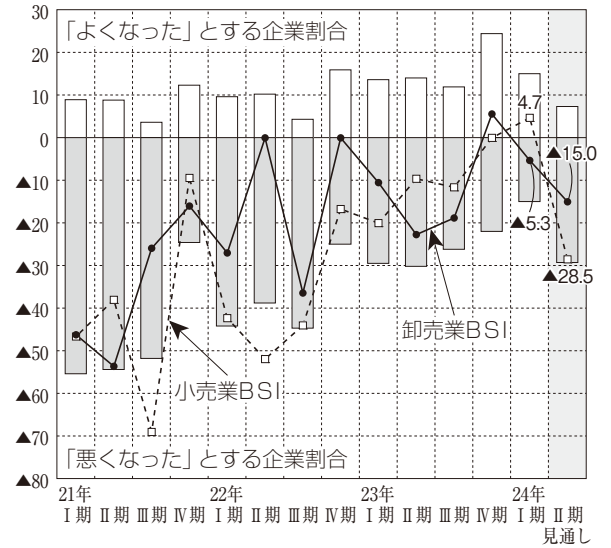
収益BSI：▲4.8(前期比▲4.8㊦)

【来期】

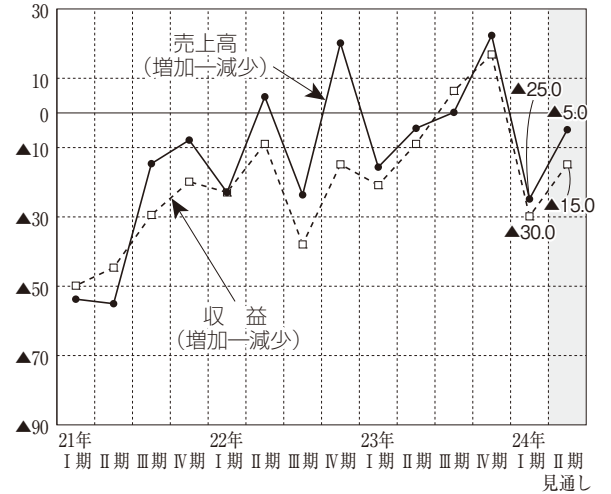
売上高BSI：▲33.3(今期比▲28.5㊦)

収益BSI：▲23.8(今期比▲19.0㊦)

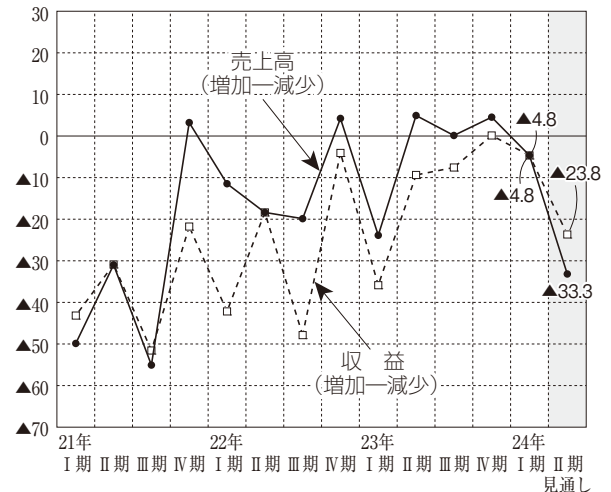
業況判断(BSI)



【卸売業】売上高と収益(BSI)



【小売業】売上高と収益(BSI)



2期連続の悪化

◎業況判断

【今期】(2024年1～3月期〈I期〉)

業況判断BSI：▲8.3(前期比▲4.3ポイント)

<内訳>

- ・よくなった 4.2%(前期比+0.2ポイント)
- ・悪くなった 12.5%(前期比+4.5ポイント)
- ・変わらない 83.3%(前期比▲4.7ポイント)

業況判断BSIは、資材価格高騰などにより2期連続で悪化した。経営上の課題としては、約5割の企業が人手不足、人材不足のいずれかを挙げた。

【来期】(2024年4～6月期〈II期〉)

業況判断BSI：▲16.7(今期比▲8.4ポイント)

<内訳>

- ・よくなる 8.3%(今期比+4.1ポイント)
- ・悪くなる 25.0%(今期比+12.5ポイント)
- ・変わらない 66.7%(今期比▲16.6ポイント)

売上高BSIと収益BSIが大幅に悪化する見通しであり、業況判断BSIも悪化する見通し。

◎売上高と収益

【今期】

売上高BSI：+12.5(前期比+36.5ポイント)

収益BSI：±0.0(前期比+16.0ポイント)

【来期】

売上高BSI：▲29.1(今期比▲41.6ポイント)

収益BSI：▲37.5(今期比▲37.5ポイント)

◎所定外労働時間と雇用者数の現状

【今期】

所定外労働時間BSI：▲8.3(前期比▲0.3ポイント)

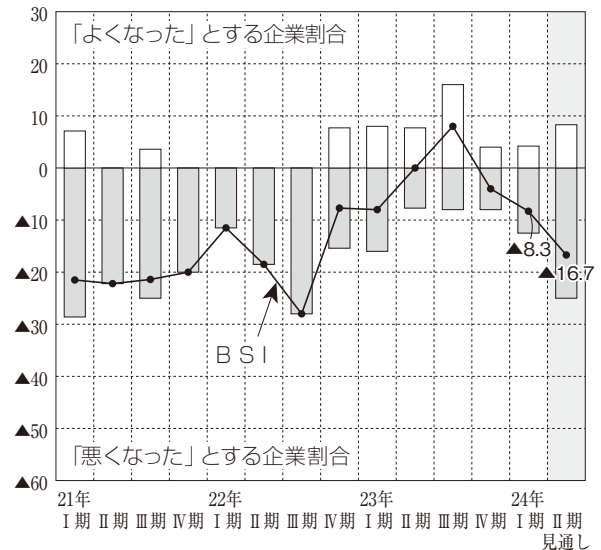
雇用者数の現状BSI：▲75.0(前期比▲7.0ポイント)

【来期】

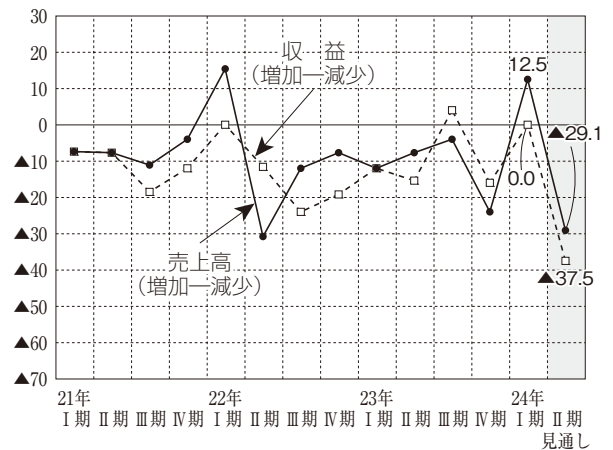
所定外労働時間BSI：▲25.0(今期比▲16.7ポイント)

雇用者数の現状BSIは前期に続き大幅なマイナス水準であり、事業者の人手不足感は高止まりが続いている。

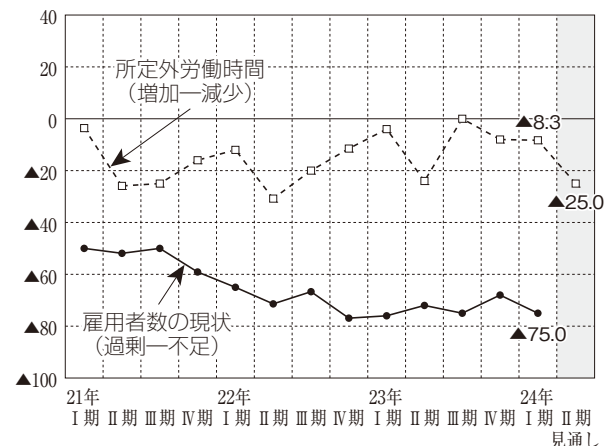
業況判断(BSI)



売上高と収益(BSI)



所定外労働時間と雇用者数の現状(BSI)



4期連続のプラス水準

◎業況判断

【今期】(2024年1～3月期〈I期〉)

業況判断BSI：+12.9(前期比▲25.8ポイント)

<内訳>

- ・よくなった 29.0%(前期比▲16.2ポイント)
- ・悪くなった 16.1%(前期比+9.6ポイント)
- ・変わらない 54.8%(前期比+6.4ポイント)

観光関連では、インバウンドの増加で業況の好調さが継続しており、全体では4期連続のプラス水準となった。また、経営上の課題として、人手不足や人材不足を挙げる企業が多かった。

サービス業のうち観光関連の15社では、「よくなった」と回答した企業は前期比15.5ポイント減の53.3%、「悪くなった」と回答した企業はなかった。

観光関連以外の16社では、「よくなった」と回答した企業は6.3%、「悪くなった」と回答した企業は31.3%だった。

【来期】(2024年4～6月期〈II期〉)

業況判断BSI：+16.1(今期比+3.2ポイント)

<内訳>

- ・よくなる 29.0%(今期比±0.0ポイント)
- ・悪くなる 12.9%(今期比▲3.2ポイント)
- ・変わらない 58.1%(今期比+3.3ポイント)

◎売上高と収益

【今期】

売上高BSI：+6.5(前期比▲38.6ポイント)

収益BSI：+9.7(前期比▲22.6ポイント)

【来期】

売上高BSI：+19.4(今期比+12.9ポイント)

収益BSI：+9.6(今期比▲0.1ポイント)

◎所定外労働時間と雇用者数の現状

【今期】

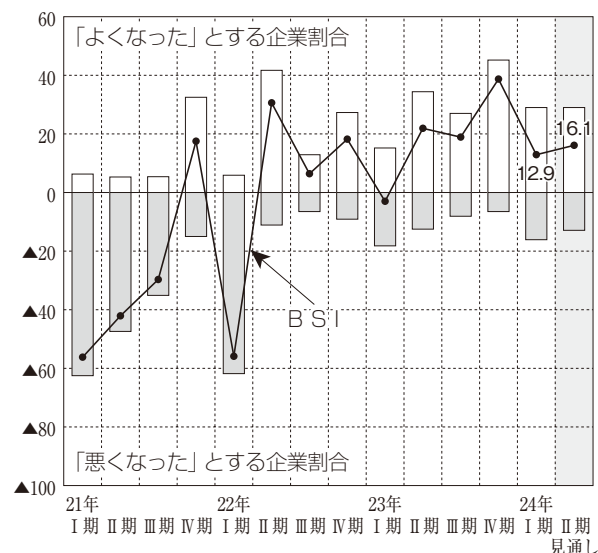
所定外労働時間BSI：±0.0(前期比▲25.8ポイント)

雇用者数の現状BSI：▲48.4(前期比+12.9ポイント)

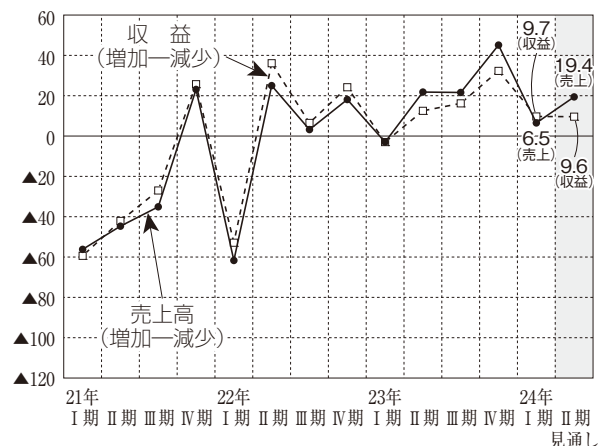
【来期】

所定外労働時間BSI：+6.4(今期比+6.4ポイント)

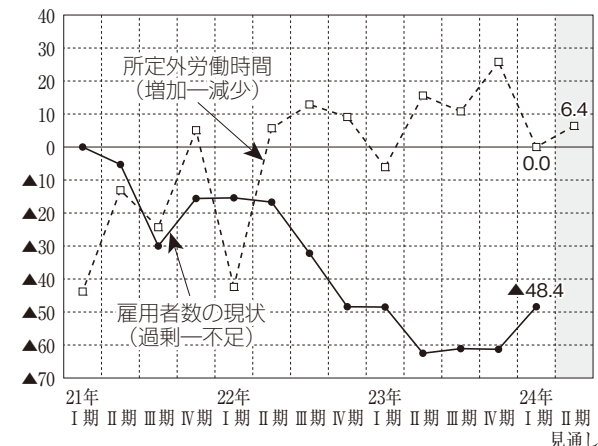
業況判断(BSI)



売上高と収益(BSI)



所定外労働時間と雇用者数の現状(BSI)



BSIとは

BSIとは“Business Survey Index”の略

企業経営者の業況に関する判断や景気見通しを“よくなる・よくなった”、“変わらない”、“悪くなる・悪くなった”という3つの形式で回答を求め、これを数値であらわしたものである。

BSIは次の数式で求められる。

①[よくなる]+[変わらない]+[悪くなる]=100%とする

②[変わらない]の回答分を除く

③ $BSI = [よくなる] - [悪くなる]$

BSIが前期を上回れば景気は改善、前期を下回れば悪化という見方をする。

調査の概要

当調査は、大銀経済経営研究所、大分信用金庫、大分県産業創造機構の三者合同によるアンケート調査である。

◎調査時点 2024年2月20日

◎調査の内容

- ・自社の景況の実績と見通し
- ・売上高と収益の実績と見通し
- ・設備投資実施割合
- ・経営上の問題点など

◎調査対象

- ・県内に本社または出先事業所を有する企業419社

◎回答企業数 172社

・回答率 41.1%

・規模別割合

資本金1千万円未満・個人	7.6%
資本金1千万円～1億円未満	61.0%
資本金1億円以上	17.4%
無回答	14.0%